



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行：三鷹市
編集：秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)
ホームページ
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/



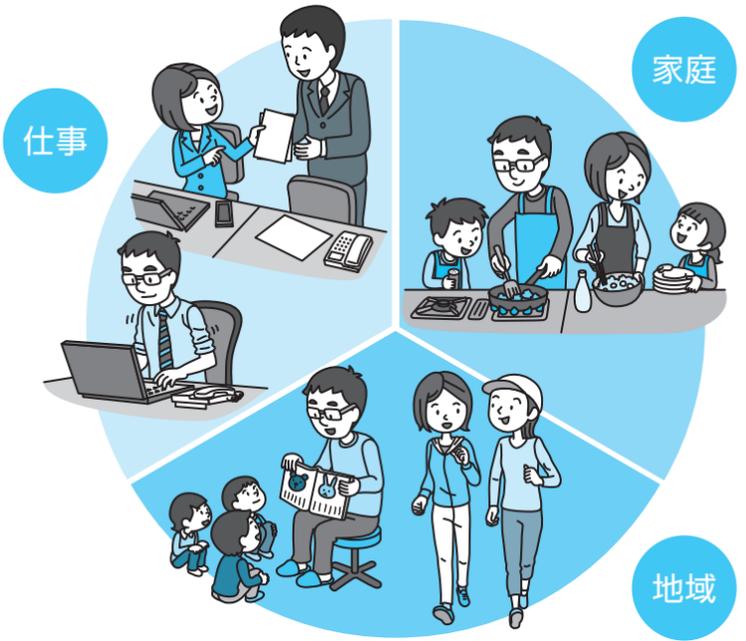
今号の紙面から

- 三鷹市総合防災訓練(メイン会場)に参加して災害への備えを!2面
- 障がい者の就労を考えるつどい20153面
- 「天文・科学情報スペース」がオープン4面
- 市からのお知らせ11面から
- 第6回三鷹コミュニティシネマ映画祭12面
- 初開催!三鷹駅前ストリートパーティー12面

ワーク・ライフ・バランス 仕事と生活の 調和の実現に向けて

「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事・家庭・地域」の3つのバランスをとることにより、さまざまな生き方や働き方を互いに理解し、尊重し合う社会の実現を目指すものです。市では、平成22年に「仕事と生活の調和推進都市」を宣言し、さまざまな取り組みを行っています。

より充実した生活を送れるよう、改めてライフスタイルを見直し、「できること」から始めてみませんか。
☎企画経営課☎内線2115



ワーク・ライフ・バランスが 実現すると...

地域のボランティア活動などに参加し、生活面が充実したことで、仕事への意欲も高まりました!

夫と家事や育児を分担できるようになり、仕事との両立が可能になったし趣味も満喫しています。



市の取り組み

◆ワーク・ライフ・バランスのための
市民協働講座
平成25年度から、公募した市民企画員と協働で、ワーク・ライフ・バランスをテーマに講座を開催しています。27年度は28年2月ごろに開催予定です。
☎企画経営課☎内線2115

◆就労支援
ハローワーク三鷹や東京しごとセンター多摩、わくわくサポート三鷹などの関係機関と連携し、幅広い世代を対象とした就職面接会や、就職支援セミナーを実施しています。
☎生活経済課☎内線2543

◆男女平等参画啓発誌「コーヒー入れて」(年2回発行・A4版8ページ)
同誌は、誰もが気軽に読めるように写真やイラストを多用し、ワーク・ライフ・バランスについて特集するなど、男女平等参画に関するさまざまなテーマを掲載しています。男女平等参画情報提供コーナー(第二庁舎1階)や女性交流室、市内公共施設などで入手できます。
※市ホームページから電子書籍版もご覧いただけます。
☎企画経営課☎内線2115



ご利用ください

女性交流室
男女平等参画に関する自主的な活動を行うための施設(約62㎡のスペース)で、会議室としての利用のほか、資料・図書の閲覧ができます。
※個人利用のほか、団体利用も可能です。

☎月～土曜日午前10時～午後9時50分
☎所 下連雀3-30-12中央通りタウンプラザ
☎国際交流協会☎43-7812へ
☎企画経営課☎内線2115

相談窓口
◆しごとの相談
就職・再就職、キャリア設計、年金など
☎月1回水曜日午前10時～午後0時30分
※次回は11月11日(水)です。
☎所 三鷹産業プラザ
☎当日会場へ
☎生活経済課☎内線2543
◆人権・身の上相談
いじめ・差別・嫌がらせなどの人権問題、心配事など
☎第3水曜日午後1時～4時(受付は3時まで)
☎所 相談・情報センター(市役所2階)
☎事前同センター☎44-6600へ

◆女性のためのこころの相談
暮らしの中のさまざまな悩みについて
☎毎週木・土曜日午後1時～5時
(祝日、年末年始を除く。1回1時間まで)
☎所 女性交流室(上記)
☎事前同センター☎44-6600、相談員直通☎71-0030(土曜日午後1時～5時)へ
◆男女平等参画に関する人権相談
セクハラ・マタハラ・DVなどの人権侵害など(弁護士による相談)
☎直接または電話で相談・情報センター☎44-6600へ
☎企画経営課☎内線2115
※日時や場所は、個別にご案内します。

自分らしいワーク・ライフ・バランスを考える

女性交流室登録団体
ワーキングペアレンツ代表
小倉環さん



ワーキングペアレンツでは、保育園探しのお手伝いや夫婦のワーク・ライフ・バランスについて考えるセミナーの開催など、共働きの子育て夫婦を支援する活動を行っています。
理想的な仕事と家庭のバランスは、一人ひとりの価値観やライフステージによって変わってきますが、両立することで人生の彩りが増えていくと思います。自分にとって何が大切なのかを考え、自分なりのワーク・ライフ・バランスを構築していくことが大切だと思います。

市長コラム

ネット大10周年 その先の10年を見据えて

三鷹市長 清原慶子

三鷹市では、市民の皆様の「民」、教育・研究機関の「学」、産業界の「産」、そして三鷹市を含む公共機関の「公」による「民学産公」の協働のまちづくりを進めています。その過程で、大いに活躍をさせていただいているのが平成17年10月1日に開設された三鷹ネットワーク大学です。
この三鷹ネットワーク大学のキャンパスは、JR三鷹駅南口から歩いてすぐの市政窓口がある三鷹駅前協同ビルの3階にあり、皆様には「ネット大」と呼ばれて親しまれています。
現在、杏林大学、国際基督教大学、国立天文台、ルーテル学院大学、公益財団法人アジア・アフリカ文化財団や日商簿記三鷹福祉専門学校といった三鷹市内の大学等を含む19の教育・研究機関と三鷹市が正会員および理事として三鷹ネットワーク大学の取り組みを推進しています。
ネット大は、市民の皆様が豊かな学習機会を提供する「教育・学習機能」、地域の課題を協働して解決する「研究・開発機能」、さらに各団体の連携を推進する「窓口・ネットワーク機能」を果たしています。

10月3日には、開設10周年記念式典および記念シンポジウム「三鷹の地域力の創生—2025年問題をにらんで」が開催されました。シンポジウムでは、団塊の世代が75歳以上を迎える「2025年問題」の解決に向けて、医療・福祉・保健等に関わる多職種やボランティアの代表が参加し、地域力を創生するための具体的提案が示されました。
また、ネット大10周年記念企画講座として、三鷹の森ジブリ美術館の協力によるアニメーション文化講座特別編「日本伝統文化に見るマンガ・アニメ的なもの」と題した連続講座が、アニメーション映画監督の高畑勲さんを講師にお迎えして10月から展開されています(受講申し込みは締め切られています)。

秋は「学びのとき」でもあります。どうぞ、開設10周年を迎えているネット大の講座や事業に改めて注目ください。そして、皆様の学びが地域の課題解決やさまざまなボランティア活動などに還元され生かされることを願っています。



開設10周年記念式典にて清成忠男理事長とともに

市長のひとことコーナー
ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。